



このまちニュース

流山にも秋がやってきましたね。

08年秋 発行責任者
いざき義治サポーターの会
代表 篠江隆
Tel/Fax 04-7154-7333
〒270-0111
流山市江戸川台東1-174



ぐりーんバス、90万人突破!!

累計利用者

「ぐりーんバス」がこの秋、3周年を迎えます。

すっかりおなじみになった、流山の顔「ぐりーんバス」。この秋3周年を迎え、延べ利用者は90万人を越えました。平成17年11月21日(月)から、市内3ルート(松ヶ丘ルート・江戸川台東・西ルート)で運行を開始した「流山ぐりーんバス」は、平成19年3月には西初石コースが追加され、平成20年9月には累計利用者90万人を突破しました。

「ぐりーんバス」のおかげで外出しやすくなった。人と会うのが楽しみになった。という喜びの声も聞こえてきています。市内の足まわりがよくなくなった流山市、大きく変わりましたね。

新ルートも誕生しますよ

来年の春平成21年3月1日(日)運行予定

美田・駒木台コース
おたかの森・美田団地・駒木台

宮園・鱈ヶ崎コース
(東武バスイースト/路線バス)

南流山・鱈ヶ崎・宮園

高齢化が進む中、市ではこれからも計画的に拡大していく方針です。

市民安全 パトロール隊員が、 70名に増えました。

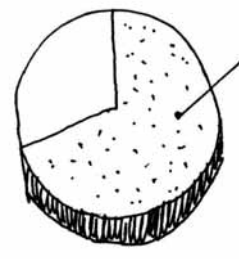
市民の皆様にはすっかりおなじみになった青色灯パトロールカー。平成17年4月6日にボランティアメンバーによる「流山市民安全パトロール隊」として、自ら6ヶ月の訓練を行った上、市から委嘱を受け、「安全で安心して暮らせるまち」実現の為に発足しました。当初は、20名余りでスタートしました。平成19年10月には市から制服も貸与され、その後ボランティアパトロール隊員も大きく増え、現在は約70名の方々が、昼夜にわたって活躍されています。また緊急時にも出動していただいています。さらに隊員全員がAED(自動体外式除細動器)の訓練を受けています。いろいろな犯罪が多発するなかで、声かけしながら、ゆつくりと住宅街をまわるあのパトロール隊の車両に出会うと、ほっとして安心します。ほんとうにお疲れさまです。



いっしょに 健康づくりをしませんか。 流山ヘルスアップ教室、 大盛況です。

平成19年10月から始まった流山ヘルスアップ事業(教室)は参加者一人ひとりの健康状態や生活習慣に応じて、科学的根拠に基づく個別運動プログラムを提供し、食生活などに関するアドバイスも行なうというものです。受講者も650名となり、7割以上の人々が開始時より体重が減少し、体力年齢も若返ったりと効果も現れています。6ヶ月の教室終了後、希望者は3ヶ月延長、その後は、民間のスポーツジムの受け皿もあります。

「流山ヘルスアップに参加した人の声」



「7割以上の方が、体重を減らしました。」

このまちアイデア

落ち葉の銀行

緑溢れるまちも晩秋ともなると、大量の落ち葉。でも、ゴミとして焼却するのはもったいない。集めた落ち葉は、どこかにまとめて堆肥にし、春になったら希望者に分けるという「落ち葉の銀行」。こんなアイデアは、グリーンチェーンの流山にどうかしら。

いっしょに動く仲間、待ってま〜す!

流山市をもっともっと住みやすい街にするために、いっしょに考え、いっしょに動いてくれる人を募集しています。アイデアやご意見も大募集しています。詳しくはホームページ、または直接ご連絡ください。お待ちしております。

いざき義治サポーターの会

〒270-0111 流山市江戸川台東1-174 Tel/Fax 04-7154-7333
ホームページ <http://www.izaki-yoshiharu.com>
※10月1日より開設。順次充実させていきます。

市役所の1階に行くと、職員がまるで銀行のようにアドバイスをしてくれます。「フロアマナージャー」です。

流山市役所1階のフロア。数年前までは書類を申請する人たちがカウンターに並んで待つのは当たり前のことでした。でも井崎市長になってからは、列がで始めると、職員が次々と窓口で対応して、長い列ができることはほとんどなくなりました。そしてこの6月からは、さらに便利になりました。番号札を取って、椅子にかけて待つことができるようになったのです。しかも職員が、札を取ったり申請書を書くときのアドバイスをしてくれます。称してフロアマナージャー、助かりますね！



向小金と前ヶ崎にお住まいの方、朗報ですよ！

電話一本で、住民票などが

「向小金福祉会館」で受け取れます。

向小金2・3・4丁目と前ヶ崎にお住まいの方で、クルマを使えない方々も待たせしました。今までは市役所や東部出張所まで行くのがとても不便でしたが、7月1日から、地元の向小金福祉会館で、住民票の写しや印鑑登録証明書、戸籍抄本を受け取ることができるよう電話サービスが施行されています。

利用したい場合、市役所市民課(7150-6075)に直接電話し、必要な文書を申請すると同時に、向小金福祉会館で受け取りたい旨を伝えます。向小金福祉会館での受け取り時間は、月・水・金曜日の午後1時30分～午後4時30分の間です。月・水・金曜日の午前中に申し込むと、その日の午後に受け取れます。



流山の子どもたちが、算数や数学が好きになるように。

頼りになるサポート教員制度をご存知ですか。流山市内の小中学校では、サポート教員制度があります。教員免許を持ったサポート教員が全市内の小中学校に配置されています。小学校では算数を、中学校では数学を習熟度別に指導しています。子供たちや、保護者のみなさまからも大変好評です。



共働きのママ、ご安心ください。子どもたちは駅でお預かりしますよ。

市内2つめの送迎保育ステーションが、南流山北口、徒歩2分にオープンしました。昨年7月に、流山おおたかの森駅東口にオープンした送迎保育ステーションは、全国で6番目、県内では初の試みで、オープン後は、見学、問い合わせが数多くあったそうです。朝、決められた時間に子供を預け、子どもたちをそれぞれの保育所に送り届け、夕方にはまたステーションに連れてきてくれるという嬉しいシステムです。登録者は8月末現在で、新しく増えた南流山保育送迎ステーションも含め、143名になりました。利用実績は延べ、8月末で1934名になり大勢の方々にご利用されています。共働きのご夫婦が安心して働ける流山市、ちょっと自慢したいぐらいですね。



駅にエレベーター、ぞくぞく。



江戸川台駅と初石駅にエレベーター。障害のある方や高齢者には大助かりです。費用は、国・流山市・東武鉄道が三分のずつ負担しました。

江戸川台駅

初石駅

初石駅ではバリアフリー化を図るため跨線橋の両端にエレベーターが2基、また駅入口段差のわきにスロープが出来ます。工事開始は今年の10月、完成は来年の3月の予定です。